

会議録

会 議 名 称	令和 7 年度第 2 回松伏町地域公共交通活性化協議会		
開 催 日 時	令和 7 年 1 1 月 4 日（火） 1 5 時 0 0 分から 1 5 時 5 5 分		
出 席 者	【松伏町地域公共交通活性化協議会委員】※敬称略		
	所属	職名等	氏名
	松伏町	副町長	鈴木 寛
	茨城急行自動車株式会社	取締役社長	大舘 広知
	株式会社ジャパンタローズ	代表取締役社長	和佐見 文男
	松伏交通有限会社	代表取締役	小島 朗
	飛鳥交通株式会社	代表取締役	川野 繁 代理：善福 明
	一般社団法人埼玉県バス協会	専務理事	関根 肇
	埼玉県 越谷県土整備事務所	道路相談担当部長	増田 孝一
	松伏町まちづくり整備課	課長	岡田 純明
	吉川警察署	交通課長	北沢 一樹 代理：野口 慎太
	松伏町自治会連合会長会	会長	松下 英治
	松伏町 P T A 連合会	副会長	池田 千恵美
	公募	—	横内 浩一
	公募	—	浦野 久美子
	国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	高木 純子
	埼玉大学	名誉教授	久保田 尚
	日本大学	客員教授	
	松伏町企画財政課	課長	鈴木 英樹
	松伏町新市街地整備課	課長	後藤 秀徳
	松伏町いきいき福祉課	課長	本多 登
欠 席 者	(敬称略)		
	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長 藤田 貢 国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 計画課長 金森 宗一郎 茨城急行バス労働組合 執行委員長 和田 武士 埼玉県企画財政部交通政策課 主幹 西野 常博		
事 務 局	【松伏町企画財政課】 (主幹) 中村 勝利 (主査) 平良 敏行 (主任) 菊地 真由子		

	(主任主事) 中川 翔平
傍 聴 人	なし
次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議・報告事項 (1) 事業7 「マイ時刻表」の案について (2) 事業10 バス停上屋の設置について (3) 事業16 町内の輸送資源(混乗)について (4) その他事業の進捗について 4 その他 5 閉会
配 布 資 料	・資料1 今後の取組(事業)のスケジュール ・資料2-1~3 「マイ時刻表」の案について ・資料3 バス停上屋の設置について ・資料4-1~3 町内の輸送資源(混乗)について ・資料5 その他事業の進捗について
議事録作成者	事務局(企画財政課主任) 菊地 真由子

発言者	会議の経過(発言内容・決定事項等)
1 開会	
・開会を宣言 ・会議成立を報告 ・欠席者を報告	
2 会長あいさつ	
・会長よりご挨拶	
3 協議・報告事項	
会長	3 協議・報告事項について事務局に説明を求める。
事務局	資料1は、第1回開催の地域公共交通活性化協議会においてお示した今後の取組み(事業)のスケジュールである。この中から、主な取組み(事業)について説明し、委員からの意見をいただきたい。
(1) 事業7 「マイ時刻表」の案について	
会長	事務局に説明を求める。

事務局	事務局より資料２－１～３に基づき説明。
会長	この「マイ時刻表」の配布までの流れと用紙のサイズについて教えて欲しい。
事務局	利用者から申請をいただき、町が作成し、A４サイズに印刷した紙でお渡しすることを考えている。また、ホームページにも掲載し、利用者自身でダウンロードして記入する方法も予定している。
会長	意見・質問などないか。
委員	案１、２ともに「経由」を入れた目的は何か。 見やすくするならば、乗車時刻と降車時刻を記載するだけでよいのでは。 案１の詳細版は、乗り遅れた場合を想定して１本後の便も掲載しているが、①・②と上下に並べて列記されているので、それぞれ別で記載したほうがわかりやすいと思う。
事務局	「経由」を入れた目的としては、目的地まで１本で到着できず、乗り継ぎが必要な場合を想定している。乗り継ぎがない場合は、中央にある「経由」欄は使用しない。 案１の詳細版の①・②は、乗り遅れた場合を想定して時間を２種類入れたものだが、別枠にしたほうが良いという意見は参考とさせていただく。
委員	記載例は、松伏町役場前で降車して、赤岩入口まで徒歩で移動するということか。
事務局	そのとおり。
委員	バス停名と時刻の記載について、バス停名の下に時刻が書いてあるが、バス停名を左に、その右に時刻を記載したほうが見やすい気がする。バス停名と時刻を一行になるように記載してみてもいいか。 また、「経由」ではなく「乗り換え」の方がわかりやすいと思う。
事務局	今後の参考とさせていただく。
委員	バス路線には系統があり、停留所によっては行き先の異なるバスが何種類も発着する時間帯がある。道路状況でバスが遅れることもあり、間違っただけで違うバスに乗らないように乗車するバスの「行き先」を記載するのはいいか。
事務局	今後の参考とさせていただく。
委員	案２の簡易版にも運賃と所要時間を入れたほうがよいのでは。
事務局	今後の参考とさせていただく。
会長	資料２－１では、協議事項として案１、２のどちらがよいかという問いかけになっているが、先ほど出た各委員の意見を取り入れて簡易版と詳細版の両方を用意し、利用者の希望によってどちらかを作成するというのはいいか。
各委員	(異議なし)
(２) 事業１０ バス停上屋の設置について	
会長	事務局に説明を求める。
事務局	事務局より資料３に基づき説明。
会長	意見・質問などないか。
委員	病院前なので、上屋だけでなくベンチや照明は設置しないのか。

事務局	ベンチと照明も設置する予定である。資料の写真は、完成イメージのため、実際に設置されるものとは変更となる場合がある。
(3) 事業16 町内の輸送資源（混乗）について	
会長	事務局に説明を求める。
事務局	事務局より資料4-1～3に基づき説明。
会長	意見・質問などないか。
委員	狭山市以外にも同様の取り組みをしているところがあると思うが、なぜ狭山市へ調査に行ったのか。他の自治体を参考とする予定はあるか。
事務局	狭山市は、松伏町地域公共交通計画に参考事例として掲載しており、また、保険料やパスカード作成の事務費等を市が負担しているが、比較的市の負担費用が少ない好事例だったため狭山市を調査した。今後、他の自治体の事例も参考とする。
会長	正確な数は把握できていないが、同様の取り組みを検討している自治体は多いが、実施している自治体は県内でも限られている。狭山市は貴重な事例なので、今回調査したことは有意義であったと思う。引き続き、事例研究を継続してほしい。
委員	無料のシャトルバスを出している事業所は、町内にどれぐらいあるのか。
事務局	現在、調査を進めているところである。
委員	町内の医療機関がシャトルバスを出しており、10人乗りワゴン車を2台位保有していると思う。
事務局	貴重な情報として受け止め、今後の参考とさせていただく。
(4) その他事業の進捗について	
会長	事務局に説明を求める。
事務局	事務局より資料5に基づき説明。
会長	意見・質問などないか。
委員	担い手確保フェアについて、通常土日に開催することが多い中、平日の夜開催だったということだが、参加状況について教えほしい。
事務局	合計2名の参加で、タクシーブース1名、バスブース1名だった。人数は少ないが、その分、事業者と個別相談の時間を多くとることができた。平日夜の開催とした理由は、仕事が終わってから参加することを想定し、越谷市や関係事業者と調整したことによる。
委員	タクシー事業者として担い手確保フェアに携わった。過去に、越谷市の会館にて開催した際は、今回と同様に参加者が少なかったが、まつぶし緑の丘公園にて土曜日に開催した際は、タクシー及びバス車両の展示等を行い、参加者が多かった。担い手確保フェアは、動画上映や個別相談を実施し、まずはタクシー及びバスの仕事について知っていただくことが目的。今後も引き続き事業者として参加していきたいと考えている。
4 その他	
会長	その他として何かあるか。

委員	12月1日よりタローズバスにおいてもＩＣカードが利用できるようになる予定である。
会長	他に全体を通して何かあるか。
委員	一意見であるが、町には公共交通のハブ機能を有するものを作って、そこに行けば町内の目的地へ行けるようにすることが必要だと思う。今後、長期的に考えてほしい。
会長	埼玉県内にもハブ&スポーク型のバス拠点があるので、参考となると思う。
委員	資料１の事業４、５について具体的な取り組みがあれば教えてほしい。
事務局	今後、調整していく予定である。
委員	3月に実施している町イベントのミニまつぶしは、子どものみならず大人も含めて多数の来場者がある。ＰＴＡ連合会と教育委員会が連携して講座やセミナーを開催しているので、そういったところで公共交通の周知や情報提供をしてみてもいいか。ＰＴＡ連合会内でも、町の公共交通に対する考えや重要性などについて定期的に情報交換を行っているので、高齢者だけでなく、普段車を利用している若い世代にもバスの便利さをアピールしていったほしい。
事務局	教育委員会と調整し、今後検討する。
5 閉会	